



FPU兵庫 結成6周年記念 コンサート

1部 総会

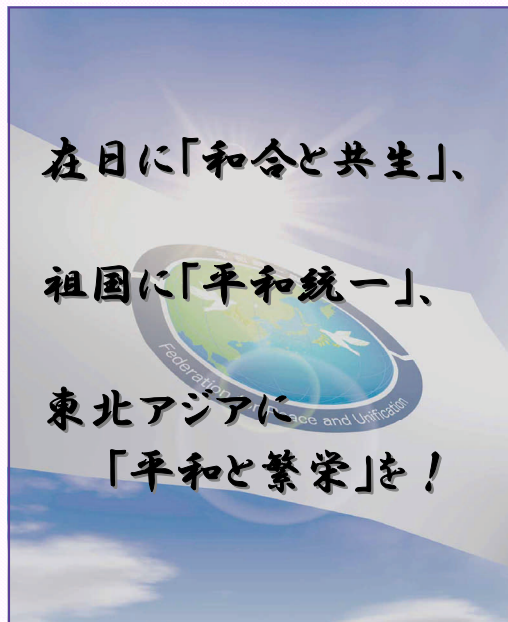
2部 コンサート



場所 JR新長田駅前
ピフレホール

神戸市長田区若松町
4丁目2-15

在日に「和合と共生」、
祖国に「平和統一」、
東北アジアに
「平和と繁栄」を！



日時 2011年6月11日(土)
13:00開場/13:30開会

主催 FPU兵庫

目 次

創設趣旨文	3
代表挨拶/FPU 北近畿,FPU 兵庫会長・趙 希 秀	4
挨拶/FPU 兵庫副会長・曹 小 煥	5
激励辞/F P U兵庫常任顧問・小野正博	6
激励辞/FPU 北近畿常任顧問・佐野清志	7
祝辞/FPU 中央本部会長・鄭 時 東	8
祝辞/ FPU 中央本部会長・朴 明 盛	9
祝辞/京都大学名誉教授,FPU 京都会長・渡辺久義	10
役員紹介	11
活動報告	12
活動方針案	13
プログラム	14
出演者紹介	15
1年のあゆみ	16
活動写真	18
賛助広告	20
홀로아리랑	26

創設趣旨文

人類歴史は善悪の闘争歴史でありました。心と体、善と悪の闘争は人類を長い不幸の連続に追いやってきました。近世では帝国主義の暴政の下に韓民族は呻吟し、韓民族は日本の恩讐となりました。開放を迎えた後も韓民族は再び有神論と無神論、民主と共産の対立と葛藤の下、同族同士が殺しあう憎悪の歳月を過ごしてきました。これにより在日同胞は日本の地で夢にも願わなかった国境線無き分断状態で生きてきて、今も統一された同胞共同体をなすことが出来ずにいます。

しかし今の時代は新しい天と地が開かれ、分裂と葛藤の歴史を清算し、和解と統一の理想が実現する天運到来の時であります。もはや同一民族が互いに反目し対立するときではありません。一つの民族として一つの統一体を形成し、幸福と反映のために邁進しなければならないのです。さらには善悪の闘争から起こされる全ての対立と葛藤を打破し、恩讐を超えて世界平和のために希望あふれた理想に貢献する韓民族とならなければなりません。

在日同胞の分断は韓半島の分断の結果であり、在日同胞の統一は韓半島の統一の始まりであり、模型であります。韓半島の統一は心と体、有神論と無神論、民主と共産の統一であり、世界統一の模型であります。真の統一は制度や外的な統合によりもたらされるものではありません。相手の幸福のために生命までも捧げたい、永遠にともに暮らしたいという真の愛の精神だけが理念と制度、組織を超越して感動的な統一を導くのです。真の愛の絶対価値に基づき、互いに許し合い愛し合い、ひとつとなる時、真の自由、平和、統一、幸福の道が開かれるのです。

我々はこのような真の愛の精神を土台として、在日同胞全体が“本当にともに暮らしたい、死ぬ時とともに死に、生きるときとともに生きたい”という熱い心情で一つになることが出来る平和統一運動を展開しようと思います。

また、遠からず訪れる韓半島の統一時代は、南北が平和的な統一、共生、共栄、共義の統一を成就し、1000万離散家族と全ての同胞が共に繁栄を謳歌できるように平和統一運動を展開しようと思います。

過ぎたる世紀、在日同胞は歴史の被害者でありました。しかし今後在日同胞は環太平洋時代において歴史の主人公であり、先駆者となるのです。我々はヨーロッパとアジアを結ぶ国際ハイウェイ構想を実現することで、日本を世界平和に貢献する母の国として導こうとしています。日韓海底トンネルを通して人類が国境線無く自由に往来し和合する理想世界を成し遂げるのです。

在日同胞から始まった真の愛の平和統一運動は、すべての分裂と対立を終結させ新しい歴史を創造するのです。我々の運動は在日同胞は勿論のこと海外同胞と日本民族を世界的に連帯し、韓半島の統一と世界平和に貢献する革命的な偉業を成し遂げるのです。全ての同胞たちよ!日本民族よ! 一丸となって世界統一の模型となる韓半島平和統一のために天意に従って精誠を集めて歴史的な御旨を成就しましょう。

2004年7月4日 東京

代表の挨拶



FPU 北近畿／FPU 兵庫 会長 趙 希 秀

FPU 兵庫のスタッフや会員の皆様、結成 6 周年を迎え、心からお祝いの言葉を申し上げます。本当に、おめでとうございます。

さて、過去六年間の歩みを振り返りますと、教育・交流・広報と言う活動戦略の三本柱の下、結成以来変わらず活動をしてきたと総括することができます。

先ずは教育において、平和統一セミナーを通して祖国の平和と統一と繁栄に関する諸般の学習及び在日同胞間の和合や日本社会での共生に関する諸般の学習を中心に学びながら各支部の会員拡張を図りました。また啓蒙講座を通じ、『『為に生きる精神』即ち怨讐・思想・価値観・体制を超えることができる「真の愛」で祖国の平和統一を推進する運動、そして統一の手法として平準化と交流を主唱する』と言う本会の平和統一理念を学習の柱にして各支部会員の教育・育成を図ってきました。そして平和統一原理セミナーを通じて本会の創始者・文鮮明総裁の平和理念の基本原理を啓蒙してきました。

二番目は交流において、会の核心であるスタッフの一体化の為、常任理事会、定例役員会などの定期的会議を中心に意思疎通を図り、意思決定・業務推進を執り行ってきました。また結成記念大会(総会)、支部懇親会、新年会、忘年会、料理講習会、賢仁会などを通じて会員間の交流を促進してきました。そして対外的には、韓国民団や朝鮮総連を初めとする民族団体などと交流を図ってきました。

三番目は広報において、ホームページの開局 (<http://fpuhg.main.jp>)、機関紙「月刊 平和統一 NEWS」の発行、活動紹介パンフレット発行、何よりもこれらの集大成、本会の活動指針書ともいえる題名「在日の和合と祖国回復、そして平和統一への道」本の出版であります。そして特筆すべきは映像分野です。今大会を機に過去 6 年の映像記録や活動写真などを中心に、6 年間の活動内容を「FPU 兵庫の歩み」と題して広報用ビデオを制作したことです。「百聞は一見に如かず」と申します。このビデオを通して短時間で本会の活動を垣間見ることができることと存じます。

FPU 兵庫は、これからも、創始者の精神・事業に学び、在日の和合、日本人との共生、祖国の平和統一を積極的に推進していく所存です。

挨拶



FPU 兵庫 副会長 曹 小 煥
元 臨濟宗東福寺派 京都総本山東福寺 塔頭 即宗院

「仏教徒の立場から」

この度のFPU兵庫結成6周年を心よりお祝い申し上げます。

大きな「縁」があって、FPU兵庫の会員となり、各行事に参加させて頂いております。常に最上の選択を求めて、あっちへ転びこっちへ転びつつ、ものごとは何とかなるの気構えで、自分自身を信頼しながら自信を持って会員の皆様と交流して参りました。

目的に至るためには、いろいろな道があります。決して一つだけでは有りません。

その目的とは韓(朝鮮)半島の南北分断をなくす平和的統一のことです。寝ても起きても考えるのは、その事しかないと言っても過言では有りません。

そして、FPU結成の目的である民族の分裂と葛藤の歴史を一日も早く平和的精算を果たし、南北統一への理想を実現に向かっての6周年記念大会に敬意を表します。

一人の人間として「信」と「仁」、「礼」を知るためにこれまでFPU兵庫の機関誌である月刊紙「平和統一NEWS」で、多くを学習して参りました。禅宗仏教とは、ほんとうの自分を徹底して追求・探求していくものなのです。

2010年5月に趙 希 秀FPU北近畿会長によって創始者の精神・事業に学ぶ論文・随筆集『在日の和合と祖国回復、そして平和統一への道』が上梓されました。私は此の書物を『千字文』及び『四書(大学・中庸・論語・孟子)五経(詩経・書経・易经・春秋・礼記)』に匹敵する書物であると感じております。

我が民族は仏教とともに儒教を大切にしてきました。儒教は「仁」を最も大切にします。「仁」とは二人以上の人間が居れば必ずそこに必要になってくるものです。心遣いとか、思いやりとか。そういうところから考え始めるのが儒教です。

仏教は個から出発します。個のあり方がまわりとの関係性を育てていくと見るのです。「縁」を大切にし、関係性と信頼を深めて行きたいものです。

論文・随筆集『在日の和合と祖国回復、そして平和統一への道』がこれからも広く、多くの韓(朝鮮)半島の平和的統一を望む人々に読まれることを願う次第です。

激 励 辞



FPU 兵庫 常任顧問 小野正博

平和統一聯合兵庫(本部)結成6周年記念おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

創設者である文鮮明総裁は、『韓民族の精神と伝統の中には、共生、共栄、共義の魂が生きています。5000年を超える歴史を守ってきながらも、他の国と民族を侵略したり略奪したりしない「弘益人間」(広く人間世界に利益を与えること)の血脈が通っている選民です。さらに、韓国の歴史の中には、人間の人生の根本徳目となる孝と忠と烈の魂が息づいています。』と語られています。

日本は、歴史的に古代からまた、江戸時代にもたくさんの方を韓国から学びました。日本の発展は、隣国から学び、成されてきたことは確かであります。

しかし、朝鮮出兵、日帝40年が日本と隣国との関係を大変困難なものとしてきました。このような日本の国が東アジアの平和のために立ち上がり、これが世界平和へと連結される時、日本は新しい時代の歴史を築くものであると信じています。

その為には、韓民族の精神と伝統に立ち返り本聯合が一丸となって「在日和合」、「祖国統一」、「世界平和」の革命的先駆者となり、この運動を推進していくことだと決意を新たにしております。

皆様の今後の御活躍を祈念し、私の挨拶とさせていただきます。

激 励 辞



FPU北近畿 常任顧問 佐野清志

6周年、おめでとうございます。6年間にわたり韓日一体と南北統一に尽力されたことに心から敬意を表します。

さて日韓・南北の問題を引き起こす原因となったキーワードがあります。「疎外」という言葉です。「仲間はずれにする、追い出す」という意味をもっています。かつての韓国と日本は、同じ国でした。明石海峡大橋が出来る前の神戸と淡路島のようなものでした。言葉も通じていました。古代列島には「日本」という国の概念はありませんでした。ただ韓半島の延長として馬韓・弁韓・辰韓とか、百済系・伽耶系・新羅系という意識はあったかと思います。やがて「大化の改新」から「日本」の外交方針は百済一辺倒に傾きます。そうして663年、白村江の戦いで新羅と唐の連合軍に百済と「日本」が敗れ、半島での百済再興の道が断たれてから変化が訪れます。韓半島から追い出された約4万人の百済の民は、「半島から疎外された」という意識をもって日本にきました。疎外感、やがて憎しみを誘発します。それが新羅憎しとなり、プライドが強いがゆえに新羅(韓国)蔑視へと発展します。そうして韓半島(韓国)から決別をしました。まず真実の歴史を神話の中に閉じ込めて分からなくしました。「日本」という国を造り出すために独自で歴史を編纂し世に出しました。それが「日本書紀」です。文字も独自の「ひらがな」を作りました。そうして「日本」という国が出来上がりました。奈良時代はその過渡期で本格的には平安時代から出発します。その後失った故郷を取り戻したいという思いから、朝鮮出兵、日帝の韓半島進出という日韓にとって不幸な歴史を刻むことになりました。その時被害を被った韓国側に日本に対する「被害意識」が生じ、現在の日韓の関係を複雑なものにしています。先にキーワードは「疎外」と言いました。日韓の歴史上、一番疎外された立場にいるのは在日同胞の皆様ではないかと思います。いにしえの日本列島のように、日韓・南北がひとつとなって新しい時代を築く使命が成就するように今後の皆様のご健闘を祈ります。

祝 辞



FPU 中央本部共同会長 鄭 時 東

謹んでこの度の東日本大震災における日本の方々、そして在日同胞の被害者の皆様に哀悼の意を捧げます。また、支援のためにボランティア活動をされている個人、団体機関、国家、諸外国の方々に感謝を申し上げます。

この度、平和統一聯合兵庫結成6周年記念コンサートの開催を心より祝賀申し上げます。

21世紀はアジア・環太平洋の時代と言われ、世界が注視しております。特に東北アジアにはさらなる関心が寄せられております。また、新しい時代が求める、民族、宗教、エネルギー、食料、環境等の諸問題の解決がなければ、地球家族という世界平和が訪れることは困難でしょう。

当聯合では、為に生きる真の愛の精神のもとで、国籍、民族、思想、宗教の壁を越えて、特に在日同胞の和合、統一を図り、平和の使徒として、南北の平和統一に貢献することを目的とし、日々邁進しております。

本日はその成果の一環として、平和統一聯合兵庫結成6周年記念コンサート開催に至ったと思います。

近代100年の韓日関係の中で生まれた在日同胞ですが、特に在日同胞が多く住んでいるこの兵庫の地で、日本と在日同胞が互いに信頼し合える隣人として共に発展する社会を築いていき、多文化多民族共生社会を実現していくことこそ、日本にとって必要なことではないでしょうか。

日本における、在日同胞の存在、歴史的背景、諸問題などの理解こそ、南北の平和統一を成す近道であると思います。在日同胞、そして韓国、北朝鮮、日本が、運命共同体として、共生・共栄・共義の道を行くとき、アジアと世界の恒久平和への扉が開かれると確信しております。

本日は平和統一聯合兵庫結成6周年を迎えられたことを、心からお祝い申し上げ、平和統一聯合兵庫の益々なるご発展を祈ります。

祝 辞



FPU 中央本部共同会長 朴 明 盛

平和統一聯合兵庫結成6周年記念コンサートの開催を心よりお祝い申し上げます。

太古の昔から人類は素晴らしい文明をこの地上に作り上げ、後世の為に残してきました。しかし、その過程は戦争と平和の連続であったとも言え、ある人は、「人類の歴史は闘争の歴史であった」と規定しています。確かに人類はその誕生のときから、離合と集散を繰り返し、統一と分裂の中で生きて来ました。世界の地図を眺め、歴史を考えるとときにそのことは明白であります。

民族が生きていくためには、民族というだけでは生存できないということを歴史は教えています。そこに国家の役割が必要なのです。民族を守り、繁栄させるための機構が国家なのです。民族は、国家なくして、守り、発展させることはできません。これも、世界の歴史が教えているところであります。

こうした中で世界に一つ残った分断国家が、韓半島(朝鮮半島)における朝鮮民主主義人民共和国、大韓民国であります。ここに私達が言う統一国家が必要であり、平和統一運動の問題があります。

大韓民国と朝鮮民主主義人民共和国の統一は、いかになされるべきでありましょうか。統一とは正に民族の一体化であります。今だかつて国家と国家、権力と権力の統一が成されたことはありません。私達は国家と国家、権力と権力の統一を望んでいるのではなく、民族の一体化、民衆の一体化を望んでいるのであります。

私達、平和統一聯合は、今こそ全民衆、全在日社会の中に入っていき、私達が夢にみたものを、夢ではなく現実のものとして伝えなくてははいけない。日本において、在日韓国(朝鮮)人、また日本人も、すべてモンゴリアンの血統につながる私達は、今こそ知恵を出し合い、行動していかなければなりません。

皆さん、統一は心であります。心あるものたちの集まりが統一を実現させます。一人ひとりが立ち上がり、手をつなぐことであります。それが統一の理論と実践であります。これらを全て理解した時に、我々の統一が実現されるのです！

祝 辞



京都大学名誉教授・FPU京都 会長 渡辺久義

FPU兵庫6周年、おめでとうございます。

本聯合の設立趣旨文にも強調されている「有神論と無神論」の統一ということについて、ひと言述べてみたいと思います。これは本聯合とは関係なく、私のほぼ 20 年来の関心事だからです。私があちこちに書き散らしているように、この 20 年の間にこの有神論対無神論の問題は、はっきりとした解決のめどがついてきました。これは宗教対科学の問題と言い換えることもできますが、この二つを統一する観点と機運が顕著になってきたのがここ数年の科学・哲学思想界の特徴です。

これまで科学と言え、無神論あるいは唯物論がその前提であると考えられてきました。しかし、有神論的科学というものがありうる、ありうるだけでなく、その方が科学の前提としてより有効かつ合理的だとする考えが台頭してきました。これによって、そもそも宗教と科学の対立というのが虚構であり、対立するのは有神論的科学と無神論的科学だということがわかってきました。そして今、科学者たちは、はっきりとこの 2 つの陣営に分かれて争っています。

有神論科学の証拠に基づく論理に、無神論者は太刀打ちできません。そこで学界に大恐慌が起こり、無神論体制派が、反対派の学界追放を含むあらゆる暴力的手段を用いて、新しい考え方を封殺しようとしているのが現状です。歴史的な転換期にはこういう狂気じみたことが起こるようです。まさか科学者がそんなヤクザのようなことはしないだろうと思う方は、有神論科学者(ID派)への次の典型的な攻撃のセリフを読んでみてください。これは誇張した訳文ではありません——「ID唱道者たちに対して特に腹が立つのは、彼らが決して諦めようとしないうことだ。何かが間違っているということを君たちに認めさせるのに、何度同じことを言わなければならないのだ？ 君たちがそれを成功の見込みのない運動として諦めるために、IDがピア・レビュー(査読)付きの雑誌で、いったい何度拒否されればよいというのだ？ …それは間違いなのだ。いい加減にせよ。」

こういう言い方をどこかで聞いたことがあると思う人がおられるでしょう。そう、新しい宗教を信ずる人を暴力的に拉致監禁して、ヤクザのようなやり方で棄教を迫る人たちがこの通りのことを言っています。これは崩れていく体制を批判する者に対して体制派が取る決まったやり方で、中国政府が民主化運動を弾圧するのと同じパターンであることに注目すべきです。

役員紹介

F P U北近畿

会 長 趙 希 秀

常 任 顧 問 佐野清志
常 任 講 師 趙 希 秀

《F P U兵庫》

会 長 趙 希 秀
副 会 長 曹 小 煥
事 務 局 長 福田秀樹
渉 外 部 長 金 豊 鎬
婦 人 部 長 朴 享 宣

常 任 顧 問 小野正博

<兵庫県各支部> (支部長=理事)

中央ブロック
ブロック長 茨木貞男
神戸支部長 茨木貞男
東神戸支部長 甲斐慶太

西ブロック
ブロック長 英 裕司
姫路支部長 英 裕司
米森清美
加古川支部長 市橋正成

東ブロック
ブロック長 尾道宗継
阪神支部長 尾道宗継
尼崎支部長 澄川陽子
西宮支部長 渡辺 求

<傘下団体>

賢仁会
幹 事 曹 小 煥、李 英 浩

在日平和統一婦人会兵庫県支会
会 長 朴 享 宣，副会長 鄭 庚 順，副会長 魏 倫 姫，総 務 金 男 淑

＜2010年度活動報告＞

2011年6月11日、FPU兵庫は結成6周年を迎えることが出来ました。ひとえに会員の皆様方、並びに今までご支援くださった方々に、心から感謝し御礼を申し上げます。今後も、『在日に「和合と共生」、祖国に「平和統一」、世界に「平和と繁栄」を！』をスローガンに、尚一層の努力をして参ります。益々の、皆様方のご支援・ご協力を心からお願い致します。

2010年度の活動は、例年と同じく結成当時からの活動戦略・活動方針である「教育・交流・広報」を柱に活動して参りました。

★一番目に、「教育活動」の報告を致します。

- ①平和統一セミナーは、各ブロック毎に年に1回、計3回開催し、参加者は78名でした。
- ②啓蒙講座は、神戸支部で開催、参加者18名でした。
- ③第1回の平和大使セミナーを開催し、58名の参加がありました。

★二番目に、「交流活動」の報告を致します。

- ①年始に北近畿連合会の常任理事会を開催しました。
- ②兵庫県本部の常任理事会は、月2回の定例で開催しています。
- ③また、兵庫の定例役員会である理事会は、月1回の開催をしています。

以上のように定例、緊急の会合を通してスタッフの意思疎通を図り、円滑な会運営を心がけています。

- ④毎年一度の定期総会は、過ぎし1年の活動決算を行い、次期1年の活動方針を決めます。
- ⑤新年会や忘年会などを通して会員間の交流を図っています。
- ⑥諸団体への訪問や諸団体の役員の皆様との交流を図り、老人施設などの訪問もしました。
- ⑦各支部においては、会員や協力者との交流などを図っています。
- ⑧韓国料理講習会も毎回定員を超える盛況ぶりです。4月23日には、第26回の韓国料理講習会を開催しました。
- ⑨在日1世・2世を中心とした賢仁会を毎月開催しています。勉強会やディスカッション、歴史探訪、「祖国の平和統一を考える」講演会を行っています。5月21日には第18回の集会を開催しました。

★三番目に、「広報活動」の報告を致します。

- ①ホームページは、随時更新をしており(月に複数回)、FPU兵庫の現在の等身大の姿、今までの活動の記録が全て閲覧できるようになっています。
- ②機関紙である月刊「平和統一 NEWS」は、今回のプログラム冊子と共に、皆様に配布致しました。今月号の6月号で34号の発刊となります。この機関紙は、編集委員会を組みながら、毎月の活動トピック記事を始め、社説では本会の活動理念を掲載し、好評の随筆、投稿記事も連載しています。「祖国回復」の手助けにと韓国語や韓国料理を学べる記事も連載しています。本紙の当月号やバックナンバーも、ホームページで無料で閲覧でき、プリントアウトできます。お気軽にご利用ください。
- ③出版部門では、本会の活動理念を紹介した「論文・随筆集『在日の和合と祖国回復、そして平和統一への道』」趙希秀著の普及に努めました。
- ④映像部門では、過去6年間の活動映像や活動写真を集大成した「FPU兵庫の歩み」のビデオを制作致しました。

★今年の総会で、その他の二点も活動方針として採択されています。

- ①その一つ目は、日韓ハイウェイミリ運動です。三口15万円のご協力がありました。今後とも東北アジアの平和と繁栄の為、一層のご協力をお願い致します。
- ②その二つ目は、正会員四百名の拡張です。少しの増加があっただけで、目標に遠く届いておりません。賛同会員の皆様のご協力が必要です。

賛同会員の皆様！是非、正会員になってください。よろしく、お願い致します。

＜2011年度活動方針(案)＞

2011 年度活動方針案を発表いたします。

- ① 第1に、基本戦略の「教育・交流・広報」即ち「学び、交り、知らせる」を基軸にして、より一層の組織の活性化を図り、努力を重ね、活動して参ります。

1) 教育活動は、

- ☐ 本会の平和理念を学ぶ「平和統一原理」セミナーの開催。
- ☐ 祖国の平和統一に関する教養講座である「平和統一セミナー」の開催。
- ☐ 会員育成を主眼にした講座の啓蒙講座の開催。
- ☐ その他、講演会、個別講義、勉強会を開催する。

2) 交流活動は、

- ☐ 定期総会としての結成記念大会は、年一度の開催をする。
- ☐ 執行委員会である常任理事会は、定例として月 2 回開催する。
- ☐ 各支部の支部長が参加する定例役員会(理事会)は、月 1 回開催する。
- ☐ 年始は新年会、年末は忘年会を開催し、会員間の交流を図る。
- ☐ 支部における懇親会を開催する。
- ☐ 主に民族団体である他団体との交流を図る。

3) 広報活動は、

- ☐ 先ず本会のホームページは、継続的に開局する。
- ☐ 機関紙である月刊「平和統一 NEWS」は、継続的に発刊する。
- ☐ 本会の活動理念を紹介した「論文・随筆集『在日の和合と祖国回復、そして平和統一への道』」趙希秀著の継続的普及に努める。
- ☐ 本会の活動を紹介する小冊子・チラシ・ビデオを制作する。

- ② 第2に、第六期の活動方針として採択された会員拡張四百名は、遺憾ながら目標に達成しておりません。引き続き、第七期の活動方針と致します。

- ③ 第3に、同じく、日韓ハイウェイの一ミリ運動も継続して推進致します。日韓ハイウェイの中心的役割を担う平和大使の拡張が要になりますので、平和大使運動も展開致します。

六周年を迎えた今日は、第七期のスタートラインに立っています。

会員の皆様、ご来場の皆様、第七期の今年一年も手と手を携えて、頑張りましょう！

『在日に「和合と共生」、祖国に「平和統一」、世界に「平和と繁栄」を！』、

皆さん、力強く推進して参りましょう！

ご協力お願い致します。

プログラム

1部 総会

司会 澄川 陽子

開会宣言.....司会者
来賓・主賓紹介.....司会者
代表挨拶.....FPU 北近畿／FPU 兵庫会長 趙 希 秀
激励辞.....FPU 兵庫常任顧問 小野正博
激励辞.....FPU 北近畿常任顧問 佐野清志
祝 辞.....京都大学名誉教授／FPU 京都会長 渡辺久義
活動報告.....ビデオ上映
活動方針(案).....FPU 兵庫事務局長 福田秀樹

2部 記念コンサート

司会 朴 明 子

バンド演奏.....Friendship

- 1, YELL(エール)
- 2, イムジン川
- 3, 負けないで

バンド演奏.....おじさんバンド

- 1, ホワイル・マイ・ギター・ジェントリー・ウィープス(ビートルズ)
- 2, 道標(福山雅治)
- 3, さらば(キンモクセイ)

韓国民謡.....金 美 淑

Piano 演奏.....藤富由里子

- 1, ノクターン 2 番 ショパン
- 2, 愛の夢 リスト
- 3, 「冬のソナタ」より My Memory パク・ジョンウオン
- 4, ミュージカル「キャッツ」より Memory
- 5, Disney より 星に願いを

フィナーレ.....朴 玉 緒

閉会辞/万歳三唱.....FPU 兵庫 副会長 曹 小 煥

閉会宣言.....司会

(記念撮影)

出演者紹介

2部司会

朴 明 子

ラジオ・パーソナリティ「エフエムわいわい」
まちはイキイキきらめきタイム

一人芝居役者

出演者

FRIENDSHIP

森田俊彦・・・ドラム 山名時恵・・・キーボード・ピアノ 横山真治・・・ギター
三枝秀樹・・・ギター・キーボード 米森清美・・・ボーカル

おじさんバンド

西垣秀樹・・・ギター 前田和則・・・ギター 増田光仁・・・ドラム
林裕己・・・ベースギター 三枝秀樹・・・キーボード

韓国民謡・・・金 美 淑

京畿民謡

無形文化財のブッケ・ウオル先生系ノ・ヨンヒ先生の弟子

1993 年～1995 年 ノ・ヨンヒ芸術団団員 郷土主婦大学民謡講師
1994 年 韓国の世界平和青年連合の喉自慢大会で最優秀賞を受賞
1995 年～1997 年 京畿道地域老人亭 訪問
1998 年～現在 日本での生活 各種記念行事に出演

ピアノ演奏・・・藤富由里子(ふじとみ ゆりこ)

<プロフィール>

大阪音楽大学音楽学部器楽学科卒業。

梅谷進、長田まゆみ、恒川裕子、大友聖子、江藤真理子、川島基、
ダグ・アシャツツ、アレキサンダー・イエッナー各氏に師事。

音楽理論を江藤誠仁衛門に師事。

2004 年夏期ウィーン短期留学。

2005 年いずみホール、アカデミーコンサート 2005 に出演。

2007 年, 2008 年, 2009 年兵庫県立芸術文化センターにおいて

「Muse 奏でる Opus No.1-3」に自作出演。

2009 年ユーロピアノ関西ショールームにて

「プレイエルでショパンを奏でる」に客演出演。

元ジェームス山カルチャーセンターピアノ講師、

神戸新聞文化センターKCCCピアノ講師。

現在、クラシックカフェレストラン「アマデウス」ピアノ演奏員。

神戸北野異人館パラスティン邸にて「ベビークラシックライブ」と題して母親、赤ちゃん、
子どもの為のコンサートレッスンを精力的に活動中。

神戸北区にてピアノ教室を開催。

1 児のママ。子育て奮闘中。

フィナーレ・・・朴 玉 緒



日 付	題 目	主催＜及び協賛・参加・祝賀＞
2010.6.1	平和統一NEWS第22号 発刊	FPU北近畿
2010.6.6	常任理事会 開催	FPU兵庫
2010.6.6	第5期第12回定例役員会 開催	FPU兵庫
2010.6.12	第22回韓国料理講習会 開催	FPU兵庫在日平和統一婦人会
2010.6.19	賢仁会2010年度 第4回集会 開催	FPU兵庫
2010.7.1	平和統一NEWS第23号 発刊	FPU兵庫
2010.7.11	出版記念祝賀会 開催	FPU兵庫
2010.7.17	賢仁会「第3回歴史探訪 神呪寺・鷲林寺」 開催	賢仁会
2010.8.1	平和統一NEWS第24号 発刊	FPU北近畿
2010.8.10	第5期第13回定例役員会	FPU兵庫
2010.8.22	結成5周年記念大会	FPU兵庫
2010.9.1	平和統一NEWS第25号 発刊	FPU北近畿
2010.9.7	第6期第1回定例役員会	FPU兵庫
2010.9.11	第23回韓国料理講習会 開催	FPU兵庫在日平和統一婦人会
2010.10.1	平和統一NEWS第26号 発刊	FPU北近畿
2010.10.5	常任理事会	FPU兵庫
2010.10.5	第6期第2回定例役員会	FPU兵庫
2010.10.16	賢仁会 第13回集会 開催	賢仁会
2010.10.31	啓蒙講座（神戸支部）	FPU兵庫
2010.11.1	平和統一NEWS第27号 発刊	FPU北近畿
2010.11.4	第6期第3回定例役員会	FPU兵庫
2010.11.7	第20回平和統一セミナー（東ブロック）	FPU兵庫
2010.11.7	相生韓国・朝鮮人無縁仏追悼式 参加	FPU兵庫姫路支部
2010.11.20	第24回韓国料理講習会 開催	FPU兵庫在日平和統一婦人会
2010.11.30	第6期第4回定例役員会	FPU兵庫
2010.12.1	平和統一NEWS第28号 発刊	FPU北近畿
2010.12.4	賢仁会 第14回集会 開催	FPU兵庫
2010.12.19	第21回平和統一セミナー（中央ブロック） 開催	FPU兵庫
2010.12.23	忘年会	FPU兵庫

日 付	題 目	主催＜及び協賛・参加・祝賀＞
2011.1.1	平和統一NEWS第29号 発刊	F P U北近畿
2011.1.13	第6期第5回定例役員会	F P U兵庫
2011.1.19	F P U北近畿会長団会議	F P U北近畿
2011.1.22	賢仁会 第15回集会 開催	F P U兵庫
2011.2.1	平和統一NEWS第30号 発刊	F P U北近畿
2011.2.10	第6期第6回定例役員会	F P U兵庫
2011.2.24	常任理事会	F P U兵庫
2011.2.26	第25回韓国料理講習会 開催	F P U兵庫在日平和統一婦人会
2011.3.1	平和統一NEWS第31号 発刊	F P U北近畿
2011.3.8	第6期第7回定例役員会	F P U兵庫
2011.3.12	賢仁会 第16回集会 開催	F P U兵庫
2011.3.17	第6期第8回臨時役員会	F P U兵庫
2011.3.31	第6期第9回定例役員会	F P U兵庫
2011.4.1	平和統一NEWS第32号 発刊	F P U北近畿
2011.4.16	賢仁会 第17回集会 開催	F P U兵庫
2011.4.17	第22回平和統一セミナー（西ブロック） 開催	F P U兵庫
2011.4.23	第26回韓国料理講習会 開催	F P U兵庫在日平和統一婦人会
2011.5.1	平和統一NEWS第33号 発刊	F P U北近畿
2011.5.10	第6期第10回定例役員会	F P U兵庫
2011.5.21	賢仁会 第18回集会 開催	F P U兵庫
2011.5.31	第6期第11回定例役員会	F P U兵庫
2011.6.1	平和統一NEWS第34号 発刊	F P U北近畿
2011.6.7	臨時役員会	F P U兵庫
2011.6.11	結成6周年記念コンサート	F P U兵庫

活動写真

平和統一セミナー



第20回(東ブロック)



第20回(中央ブロック)



第21回(西ブロック)

啓蒙講座(神戸支部)



第1回平和大使セミナー



2010年度忘年会



活動写真

料理講習会



賢仁会



出版記念特別講演会(京都)



出版記念祝賀会(京都)



各種活動



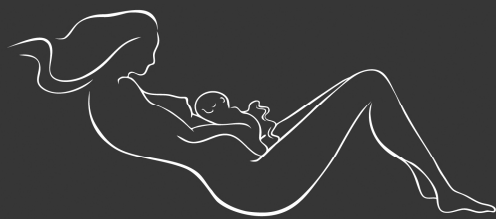
イオ神戸デイサービスを訪問

相生慰霊祭

慶 祝
趙診療所
ちょうしんりょうじょ

□ 内 科
□ 外 科
□ リハビリテーション科

院長 趙 栄 吉
金剛学園 学校医
大阪市西成区梅南2-3-16
TEL 06-6655-6660
FAX 06-6655-6667



タマル産婦人科
アクティヴバースセンター
WWW.TAMAR.JP



ASAHI DEED

株式会社
アサヒディード
代表取締役 板倉 行央

〒541-0053
大阪市中区本町2-1-6
堺筋本町センタービル11F
TEL(06)6261-2201 FAX(06)6261-3312

中古レジャーボート・船舶輸出業

有限会社

J.S.TRADE

〒675-1365
小野市広渡町613番地
TEL&FAX 0794-60-1453

クーポン情報マガジン
「らいらっく」

Lilac

増改築リフォーム・内装・外装

(有)よしだ展装

代表取締役 吉田 正 信

姫路市飾磨区三宅2丁目75番地
TEL (234) 3284

結成 6 周年
お祝い申し上げます
在日平和統一婦人会

兵庫支会
韓国料理サークル

『無窮花』



F P U兵庫結成6周年
記念大会の開催を
心よりお祝い
申し上げます。



在日平和統一婦人会
京都支会
会員一同

慶 結成6周年記念 祝



F P U京都

会 長 渡辺久義

事務局長 高木 実

韓国婦人会会長

李 海 景

旅はみんなを幸せにする。
そして、新しい感動へ…

海外格安航空券 / 海外パッケージツアー / 国内旅行
その他、旅に関することなら何でも！

世一トラベル

(株)ハッピーワールド 旅行事業部
国土交通大臣登録旅行業第1687号

大阪営業所

 **06-4391-0220**

ホームページ <http://www.seichi.gr.jp/>

慶

結成 6 周年記念

祝

在日平和統一 婦人会兵庫支会

顧問	文聖純						
会長	朴亨宣	副会長	鄭庚順	副会長	魏倫姫	総務	金男淑
	朴永喜		李正禮		朴甲順		鄭英淑
	金福順		沈喜淑		朴英淑		金清子
	程閏月		金仁壽		金守英		朴惠敬
	金妍廷		金美淑		徐錦淑		池敬淑
	朴末淑		金英淑		甲喜子		李英美
	金正子		韓静旼		金善英		李明順
	李英児		車賢淑				

慶

6周年 姫路支部

祝

	顧問 鄭憲宇	支部長 英 裕司	米森清美	
澤野田津子	米森浩一	井原栄一	森田俊彦	吉田茂
古淵妙	前田広志	井原優子	森下由博	前川達也
森幹三	山本秀文	田中美子	櫻寿美子	藤田征男
出来雅美	谷川敏浩	西川珠美	生木雅一	鳥居浩文
松盛清子	石田陽三	西谷隆	竹内久人	岩佐結佳
久保田徳美	青木勝彦	茂木勇三	三浦喜美代	尾上昭
東原利枝子	宮脇明人	中野裕美	原万樹夫	大下学
前德基之	佐藤明	山本孝代	森澤光子	桙康子
藤田直子	西垣智	福田和子	破魔勝郎	菅野啓義
山名國秋	末次裕之	稲岡潤子	塚原敏男	澤野裕子
横山真治	平野忠	川上やよい	菅智江	竹末裕敏
平松正光	井口峰子	山中志恵子	野中隆一	堀井宣明
山中直樹	片岡正	木村みどり	土井ユミ	三木郁子

結成6周年おめでとうございます

神戸支部

常任顧問 小野正博

支部長 茨木貞男

土谷幸子	森下 知子	西岡 裕司	池田 直裕	佐藤 明
土谷秀明	張 英 元	中永 喜之	川西 和子	山田 潔
一貫坂智子	林 裕 己	奥原 公子	薬師寺 加代子	廣野 善久
松井晃	岸本 則行	柳本 茂宏	細野 妙子	小林 一敬
朴軟春	梅津 栄子	平井 武	井領 美幸	木村 雄一
金仁壽	奥山 弥生	岸本 良治	松井 公子	相馬 康孝
金男淑	池田 文枝	高松 美那子	下岡 敏郎	榎本 康之
上月稔	塚本 清江	村山 恵宥	下岡 滋子	小田村勝義
石崎淳一	一貫坂 宏	村山 晴美	木村 まり	高島豊
斉藤和恵	西垣 秀樹	吉田 元子	松田 裕	船越保行
定兼恵子	増田 光仁	谷内田 美代子	福田 三鈴	坂本律子
余黒 誠	藤本 ちさよ	大垣 昭夫	戎 央	升本教子
藤井 靖久	梶原 真	野田 敬三	戎 則子	上条廣之
石津 和博	矢野 伊都	野田 清恵	三木 政人	中村 明美
増井俊行	土井 隆平	藤井 よし子	小濃 日出子	小林 通代
杉本 信枝	中野 千代子	戎 カヨコ	松岡 厚子	井川大造
文 聖 純	趙 顯 太	戎 義弘	西村 八寿子	朴恵敬
吉田 孝正	篠原稔夫	永 純也	野口 幸代	井口くに子
堀江 愛土	山本ひろこ	北原 京子	正置 幸未	有田 行利
冨田 明子	馬場恵子	松本 香代子	藤原 啓子	西村 すが子
柳田 眞孝	西海芙佐代	河野 修光	大久保とよ子	津田 雅信

結成6周年をお祝い申し上げます

加古川支部

顧問 沈 禹康

支部長 市橋正成

塚本玲子	飯田智史	櫻井隆能	柳田由起子
伊藤信哉	朴 永喜	盧 承杓	朴 信吾
来住昌子	梨木京子	芝本節子	金谷昌雄
浦川佳久	酒井 周一	伊藤裕朗	梅田康德
板垣光晴	清水 元	梨木 正	三枝秀樹
中島裕之	川口鈴子		

慶 結成6周年 祝

西 宮 支 部

顧問 妻 夢 周

支部長 渡辺 求

栗山幸子	津山雅巳	荒木達弘	勝田絹江
箕輪みさえ	津山直子	荒木明子	山本萬亀
金 仁壽	西田広仁	島 智美	山本みね子
白 警鍾	西田睦子	堀井三紗子	藤原信子
中尾佐織	久野幸弘	大賀功治	柳川孝子
佐藤千昌	久野妙子	大賀淳子	嵯峨よし江
橋本和子	足立龍子	田村久恵	田中久美子
廣瀬純子	小西文隆	井上申子	土屋栄美子
後藤志保子	小西美栄子	荻 禎子	久我伸子
積 美紀	小西敬二	山崎満喜恵	渡辺律子
久永ひとみ	小西恵美子	古川登江子	

結成6周年をお祝いたします

阪 神 支 部

顧問 吉位 隆司

支部長 尾道 宗継

吉位 千恵子	中野 正生	中野 都	野澤 安宏
片岡 悟	片岡 キミ子	梅田 康行	梅田 敏子
北田 春仁	津山 和義	由良 良子	井上 喜久子
油野 康一	石田 晴	石田 のり子	栗山 順子
坂本 圭司	宮本 真一	中塩 幸子	新田 鐘大
酒井 真巳	村田 直子	水垣 光晴	今井 裕恵



結成 6 周年



東神戸支部

顧問

高橋正美

支部長

甲斐慶太

前畑悦子

谷中 照

今川庸子

東 教子

西尾きよみ

坂本むつ子

赤木洋子

石塚敬二

菱田友子

宇根久仁子

田代道弘

李 光男

日 年子

豊嶋みよ子

中里久美代

藤田幸子

福島愛子

稲田秀基

折野とし子

高見千秋

横田里美

横田弥生

横田範弘

松本留美子

上村尚子

湯浅千津子

鍋澤吉雄

佐々木麻理子

安堂美津子

須ノ又静子

岡松輝明

三浦清香

井上美由紀

井上貴裕

井上滋裕

淡谷澄夫

長田恭一

新谷康信

山本 勇

岩田孝清

岩田孝清

浅川千恵子

結成 6 周年おめでとうございます

尼崎支部

顧問 鄭 致 九

支部長 澄川 陽子

秋山 明三

庄本 光昭

米村 健一

宮上 俊一

大本 祥久

隅田 敏生

永峯 次子

金光 秀雄

貝島 美智子

西本 邦治

宮川 梅子

前川 和弥

切原 享子

徳中 陽子

宮川 清司

小谷 尚子

川西 雅子

堤 かづ代

李 明勲

本田 絹子

木下 今子

澄川 修也

長谷川 敬子

安楽 ムツ

石巻 正和

杉谷 ミエ子

長崎 寛親

中村 あき子

篠原 政昭

林 信子

寺嶋 重成

『홀로 아리랑』

홀로 아리랑
一人で 아리랑

①저 멀리 동해 바다 외로운 섬

초 몰리 톤へ 파다 웨로우 소ム
あの 遠い 東海(日本海)の 海の 寂しい 島

오늘도 거센 바람 불어오겠지

오ヌルド 코센 파라ム 프로오게ッチ
今日も 強い 風が 吹いているだろう

조그만 얼굴로 바람 맞으니

초그만 올글로 파라ム 마쥬니
小さめの 顔で 風を 受けるので

독도야 간 밤에 잘 잤느냐

톳트야 칸 파메 찰 찬뉴냐
獨島(竹島)よ 過ぎし 夜は よく 眠れたか?

※아리랑 아리랑 홀로 아리랑

아리랑 아리랑 홀로 아리랑
一人で

아리랑 고개를 넘어가보자

아리랑 코겔 노모카보쟈
峠を 越えて 行ってみよう

가다가 힘들면 쉬어 가더라도

카다가 히므드울미온 시오 카드라드
行く途中で 疲れたら 休み休み 行きながらでも

손 잡고 가보자 같이 가보자 ※

손 찰 카보쟈 카치 카보쟈
手を つないで 行ってみよう 一緒に 行ってみよう

②금강산 맑은 물은 동해로 흐르고

クムカンサン マルグン ムルン トンヘロ フルゴ
金剛山の 清んだ 水は 東海へ 流れ

설악산 맑은 물도 동해 가는데

ソラクサン マルグン ムルド トンヘ カヌンデ
雪嶽山の 清んだ 水も 東海へ 行くのに

우리네 마음들은 어디로 가는가

ウリネ マウムドウルン オディロ カヌンガ
私達の 心は 何処へ 行くのか

언제쯤 우리는 하나가 될까

オンジェチュム ウリヌン ハナガ トエルカ
いつ頃 私達は 一つに なるのか

※繰り返し

③백두산 두만강에서 배 타고 떠나라

ペクトウサン トウマンガンエソ ペ タゴ トナラ
白頭山の 豆満江から 船に 乗って 出でよ

한라산 제주에서 배 타고 간다

ハルラサン チェジュエソ ペ タゴ カンダ
漢拏山の 済州から 船に 乗って 行く

가다가 홀로 섬에 닻줄 내리고

カダガ ホルロ ソメ タッチェル ネリゴ
行く途中で 孤島に 錨を 降ろして

떠오르는 아침 해를 맞이해보자

トオルヌン アチ メルル マジ ヘボジャ
昇る 朝日を 迎えてみよう

※繰り返し

論文・随筆集

「在日の和令と
祖国回復、そして
平和統一への道」

趙希秀／著

